

「行政事業レビュー」の課題と対応状況

● 課題

① 総理指示(令和4年6月3日 第4回デジタル臨時行政調査会)(抜粋)

特に、財政支出を伴う事務事業で成果目標を定量的に立て、執行段階から成果を検証し、効果の低いものは見直していくことが重要です。
約5,000の事務事業のレビューの方法を順次見直し、EBPMの手法の実践に繋げていくことで、事業効果の検証を行ってください。

② 経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定)(抜粋)

第4章中長期の経済財政運営 1. 中長期の視点に立った持続可能な経済財政運営
 (効果的・効率的な支出の推進とEBPMの徹底強化)

EBPMの手法の実践に向け、行政事業レビューシートを順次見直し、予算編成プロセスでのプラットフォームとしての活用等¹³⁴を進める。

(134 記載事項の検索のためのレビューシートのデータベース構築や補正予算のレビューシートの前倒し作成。)

参考)アジャイル型政策形成・評価の在り方に関するワーキンググループ提言(令和4年5月31日)(抜粋)

- ◆ 行革事務局は、行政事業レビューシートに政策手段と政策目的の論理的なつながり(ロジック)を踏まえた見直しを試行的に行い、EBPM的観点を踏まえて行政事業レビューシートを作成するよう各府省庁に促すとともに、必要に応じて秋の年次公開検証においてEBPM的観点から検証に取り組むなど、可能な対応から順次実施する。
- ◆ 現実の意思決定過程においてEBPM的観pointsの導入につなげる観点から、各府省庁は、財政当局への概算要求の説明を始めとした予算編成プロセスにおいて、行政事業レビューシートを活用するものとする。

● 対応状況

① レビューシートの見直し

(128シートで試行中。5年度から全事業に拡大予定)

■ EBPMに係る要素の充実等

- ー政策の手段と目的のつながり※を明確にするため記載項目を整理・追加
- ー議論しやすい「サマリー」を自動作成

※現状・課題→アクティビティ(活動内容)→初期アウトカム(成果目標・指標)→最終アウトカム(同)→インパクト(目指す姿)

② レビューシートのシステム化

(予算要求中。6年度本格稼働予定)

■ 職員の負担軽減

- ー既存データの自動入力
- ーファイル・メールによらない情報管理・共有

■ データの正確性向上

- ー正確な法人名候補表示、法人番号自動入力
- ー入力規則違反のエラー表示

■ データ利活用の促進

- ーグラフ化、検索機能により分析・立案支援
- ー国民の利便性向上(現在Excelファイルで公開)

③ 評価関連作業の一体化

(総務省政策評価審議会で審議中。5年度から実施予定)

■ 行政事業レビューと政策評価の作業の重複排除